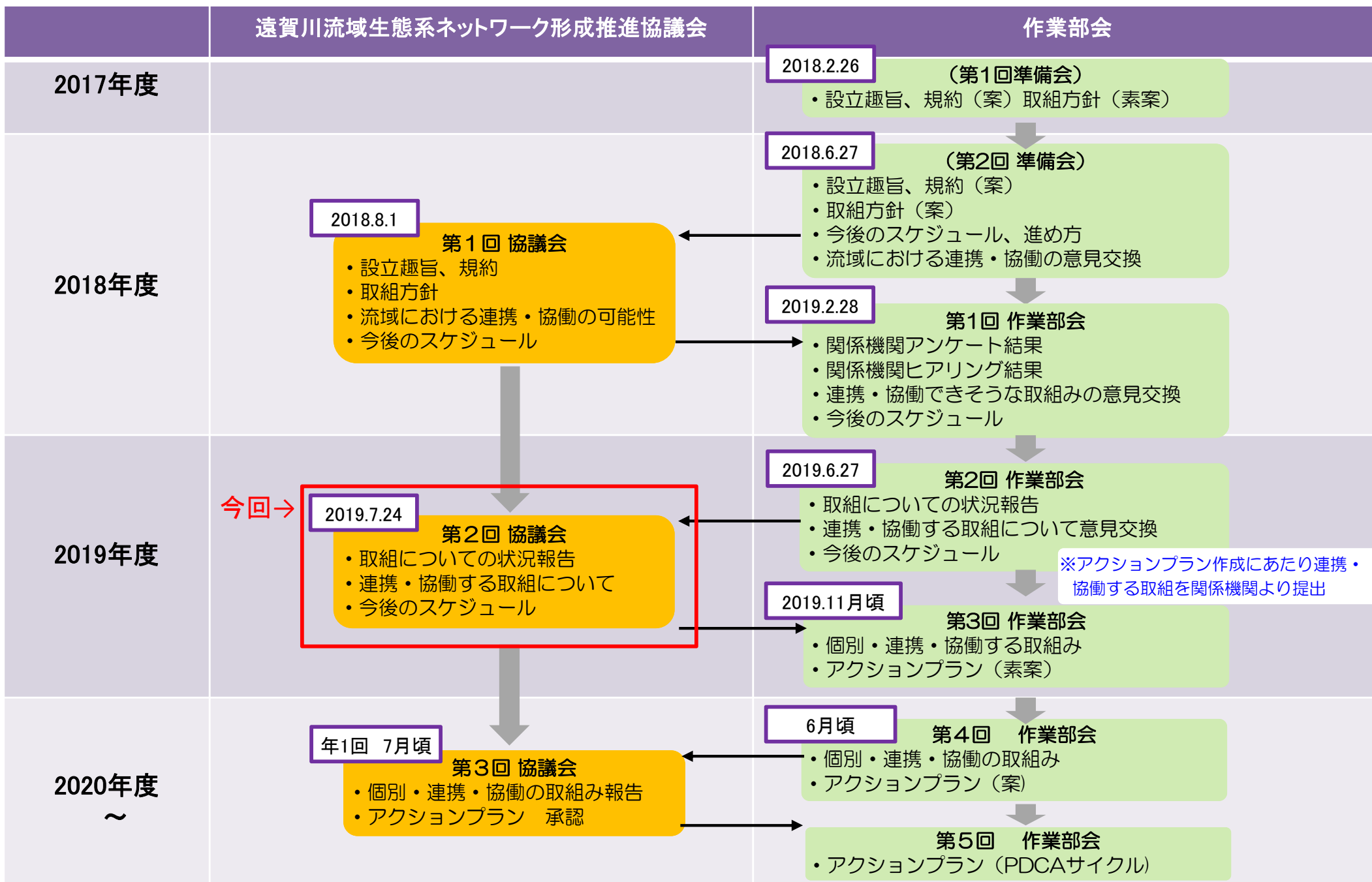


第2回 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会

5. 今後のスケジュール

令和 元年 7月 24日

今後のスケジュール



取組内容のアクションプラン(行動計画)について

- 生態系ネットワーク形成のための目標を達成していくため、構成機関は、それぞれ又は連携してNo1～11の個別の取組とNo.12～14の流域全体で取組む重点項目について、連携・協働する目標、目的、内容等を具体的に示した個別のアクションプラン(素案)を作成する。
- 作業部会でアクションプラン(案)の議論を行い、次回の推進協議会でアクションプランの承認、策定する。
- 小竹地区におけるアクションプランのイメージを以下に示す。

■アクションプランのイメージ(例 小竹地区)

No.3 河川とその周辺の横断的連続性の再生 : エコロジカルネットワーク再生事業

目的(ねらい)	川表・川裏の段差・湿地環境を改善し魚類等が行き来できる横断連続性を保全・再生する。
地区・場所	小竹地区 川表: 段差のある樋門・樋管周辺 川裏: 段差のある水田・水路周辺
他の取組との組み合わせ	・No8 水辺のネットワーク ・No11 多様な主体の連携 ・No14 イベント等による普及啓発活動
内容・期待される効果	①段差を改善する整備により魚類生息環境が保全・再生され魚類ネットワークが形成される ②日常の水遊び、魚とり、小学校の環境学習等による利活用 ③住民団体(NPO)、学校(小学校)、行政(市町村)による連携協働体制の構築(草刈り・清掃活動等) ④整備により魚類等が行き来しているかをモニタリング調査で魚類相を把握、必要な整備へのフィードバック、環境学習へ活用する
取組機関	遠賀川河川事務所、関係する市町村(小竹町)

取組内容のアクションプラン(行動計画)について

- 第2回作業部会の遠賀川下流班では、以下の意見が出された
 - ・ホテル観賞にあわせた清掃活動と外来生物駆除を組み合わせると良い
 - ・黒川と遠賀川中島を巡る生態系ツアーも面白い
 - ・西川のサケの放流と遠賀川河口の魚道公園をあわせた生物勉強会も良い
 - ・遠賀川下流から上流にサイクリングロードが通っているので地域間の連携ができると良い
- 遠賀川下流域におけるアクションプランのイメージを以下に示す。

■アクションプランのイメージ(例 遠賀川下流域)

No.10 自然・歴史・文化的資源を活かした地域振興 : 自然体験・歴史・特産品を巡るツアーによる地域活性化

目的(ねらい)	豊かな自然・歴史・文化的資源をつなげ魅力を増し地域活性化を目指す
地区・場所	遠賀川下流域、中間市（中島周辺）
他の取組との組み合わせ	・No.6農地環境の保全・再生 ・No.11多様な主体の連携 ・No.14イベント等による普及啓発活動
内容・期待される効果	①遠賀川河口堰魚道、黒川ホテルの保全、中島は自然再生事業(ヨシ原・湿地再生)が実施され、自然が豊かでNPOと連携した自然体験・環境学習が実施できる ②歴史・文化施設・特産品を巡るJR九州ウォーク・なかまフットパス・サイクリングコースとなる ③中島周辺は野鳥の飛来地であるため、NPOと連携し自然観察会とあわせたバードウォッチング・エコツーリズム等との連携が期待できる ④NPOと連携しホテル観察会や清掃活動とあわせた効果的・効率的な外来生物駆除が期待できる
取組機関	遠賀川河川事務所、関係する遠賀川下流域の市町村、地域住民団体等

取組内容のアクションプラン(行動計画)について

- 第2回作業部会の遠賀川上流班では、以下の意見が出された
 - ・カヌー教室で安全教育、清掃活動もあわせて実施している。
 - ・カヌーで川下りは上流・下流との地域交流にもなる。
 - ・ホテル、コウノトリの位置をホテルマップ等でリアルタイムで情報発信・情報共有できると良い。
 - ・若者による休耕田を利用したお米づくり、お酒造り、20歳になったら自分で地元のお酒づくりで郷土愛にもつながる。
- 遠賀川上流域におけるアクションプランのイメージを以下に示す。

■アクションプランのイメージ(例 遠賀川上流域)

No.10 自然・歴史・文化的資源を活かした地域振興

:カヌー、川下り、自転車による中流・上流(市町村間)の交流活性化

目的(ねらい)	カヌー、川下り、自転車による自然・歴史・文化的資源を巡り遠賀川流域の魅力を感じてもらうとともに上流～下流の人的交流を図る
地区・場所	直方市、飯塚市等
他の取組との組み合わせ	[No.11]多様な主体の連携 [No.13]情報発信 [No.14]イベント等による普及啓発活動
内容・期待される効果	①豊かな自然環境、農地(特産品)、歴史、文化、観光地をカヌーや自転車で巡り遠賀川上流から下流までの魅力を知ってもらう ②カヌー体験とあわせた安全教室、清掃活動、外来生物駆除により河川愛護心を醸成 ③鴨生田池はコウノトリの飛来地となっているため、PRしカヌー、自転車の立ち寄りスポットとして期待できる ④休耕田を利用したお米づくりを体験し地元の郷土愛が深まる
取組機関	関係する遠賀川上流域の市町村、地域住民団体等

取組内容のアクションプラン(行動計画)について

- 第2回作業部会の彦山川流域班では、以下の意見が出された
 - ・清掃活動とゴミに関する環境学習、川の生物の環境学習を組合わせた上で情報共有すると良い。
 - ・川の環境学習の場、山の歴史的な場所をあわせてHPで情報提供できるとよい。(流域の環境と歴史を一緒に学ぶ)
- 彦山川流域におけるアクションプランのイメージを以下に示す。

■アクションプランのイメージ(例 彦山川流域)

No.10 自然・歴史・文化的資源を活かした地域振興 :歴史と自然環境学習

目的(ねらい)	英彦山の自然・歴史・文化資源を活かした環境学習
地区・場所	彦山川流域
他の取組との組み合わせ	・No11 多様な主体の連携 ・NO13情報提供 ・No14 イベント等による普及啓発活動
内容・期待される効果	①地域住民団体等と一斉清掃活動とゴミに関する環境学習、川の生物の自然環境学習を組合わせ効果的な・効率的な学習とする ②彦山川の自然環境学習の場所、英彦山の歴史的な場所をあわせてHPで情報提供(流域の環境と歴史を一緒に学ぶ)し魅力を伝える
取組機関	関係する彦山川流域の市町村、地域住民団体等

取組内容のアクションプラン(行動計画)について

- アクションプランは、PDCA(P:計画(Plan)、D:実施(Do)、C:評価(Check)」、A:改善(Action)サイクルにより取組内容をモニタリングしながらその結果に合わせて柔軟に見直し・修正を図っていく。

■アクションプランのPDCAサイクル

